

最も高級で高額な
オークションブランド

 SHINWA ART AUCTION

2017年5月期 第2四半期

決算説明会資料

2017年1月25日開催



シンワアートオークション株式会社

JASDAQ : 2437

1

2017年5月期第2四半期
決算の状況

1

上半期は増収 減益

売上高： 1,794百万円 (対前期比 3.9%増)

営業利益： 0円

経常利益： △36百万円

エネルギー事業の拡大に対し、オークション事業の低迷
→オークション開催回数3回減少 (対前年同期間、平均落札単価の低迷)

2

エネルギー関連事業 大幅 増収

販売実績 **61基**
(前2Q: 34基)

売上高： 1,398百万円 (18.3%増 前2Q売上高: 1,182百万円)

セグメント利益： 101百万円 (△21.3% 前2Q利益: 123百万円)

前2Qの穂北太陽光発電所 (約1MW) 売却益を除いた利益は、前年比プラス

3

海航投資集団の対日投資を見据えた戦略提携

新たなアジア戦略

さまざまなアジア関連投資の模索

上半期は増収 減益

(単位：百万円)

	2016年5月期2Q 実績	2017年5月期2Q 実績		
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,726	1,794	68	3.9%
(セグメント売上高)				
オークション関連事業	543	391	△152	△28.0%
エネルギー関連事業	1,182	1,398	216	18.3%
売上総利益	643	465	△178	△27.7%
販売費及び 一般管理費	473	466	△7	△1.5%
営業利益	169	0	△169	-
(セグメント利益)				
オークション関連事業	43	△101	△144	-
エネルギー関連事業	128	101	△27	△21.1%
経常利益	160	△36	△196	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	96	△37	△133	-

オークション関連事業

取扱高： 1,324百万円 (前年比：△39.0%)
 売上高： 391百万円 (前年比：△27.9%)
 セグメント損失： △101百万円 (前年同期：利益43百万円)

オークション開催：13回
 (前年同期間：16回)

出品数：3,305点
 (前年比：△25.5%)

単位：百万円	開催回数	取扱高 (前年比)	売上高 (前年比)	出品数	落札数 (落札点数)	落札率 %
近代美術オークション	3回	663 (△40.8%)	131 (△45.7%)	341	267	78.3
近代陶芸オークション	2回	125 (△45.1%)	26 (△43.0%)	480	452	94.2
近代美術PartII オークション	3回	111 (△36.8%)	26 (△31.8%)	767	693	90.4
その他オークション合計	5回	255 (△48.5%)	59 (△39.1%)	1,717	1,123	65.4
その他オークション ●Bags / Jewellery & Watchesオークション (2回) ●ワインオークション (1回) 前年同期間の実績を大きく上回る ●西洋美術オークション (1回) 独立 ●戦後美術&コンテンポラリーアートオークション (1回)						
プライベートセール	—	114 (+2.7%)	98 (+9.6%)	—	—	
その他	—	54 (+38.0%)	48 (+79.4%)	—	—	
合計	13回	1,324 (△39.0%)	391 (△27.9%)	—	—	

事業別実績



SHINWA ART AUCTION

2017年5月期
2Q

エネルギー関連事業

大幅な増収

販売実績 **61基**
(前年同期：34基)

売上高：	1,398百万円	(前年比： 18.3%増)
セグメント利益：	101百万円	(前年比：△21.3%)

前2Qの穂北太陽光発電所（約1MW）売却益を除いた利益は、前年比プラス

要因

- 1) 50kW級の低圧型太陽光発電施設：販売実績61基
引き続き生産性向上設備投資促進税制の適用を目的とする強い需要により販売数が増加。通期完工予定（50kW級）は上方修正（シンワアートオークション・エーペック両社の取り組み）
- 2) 自社保有の秩父大野原発電所(2MW)が2016年11月から稼働を開始
- 3) 子会社保有の太陽光発電施設及び風力発電施設による売電事業

医療機関向け支援事業

医療ツーリズム事業

- 日本を含めたアジアの富裕層に最先端の医療技術やより良い品質の医療サービスを紹介
- (香港) 中国・アジアからのインバウンド旅行者向けに、銀聯カード決済機能付プラットフォームの稼働を開始
- (日本) 日本国内の提携病院及びクリニックの同プラットフォームへの加盟促進に注力

新たなサプリメント「プラズマローゲン・プレミアム」を、オリジナルブランド「A|A|A|A」(Asian Anti-Aging Alliance)の製品として販売を開始

貸借対照表 (BS)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)	増減額
流動資産合計	3,566	4,329	763
固定資産合計	392	1,270	878
資産合計	3,959	5,599	1,640
流動負債合計	1,778	2,755	976
固定負債合計	407	1,040	633
負債合計	2,186	3,795	1,609
株主資本合計	1,766	1,802	36
純資産合計	1,772	1,804	32
負債・純資産合計	3,959	5,599	1,640

キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	増減額
営業活動CF	374	△1,145	△1,519
投資活動CF	△67	△983	△916
財務活動CF	△264	1,780	1516
現金及び 現金同等物の期末残高	1,012	926	△86

2

マーケット環境

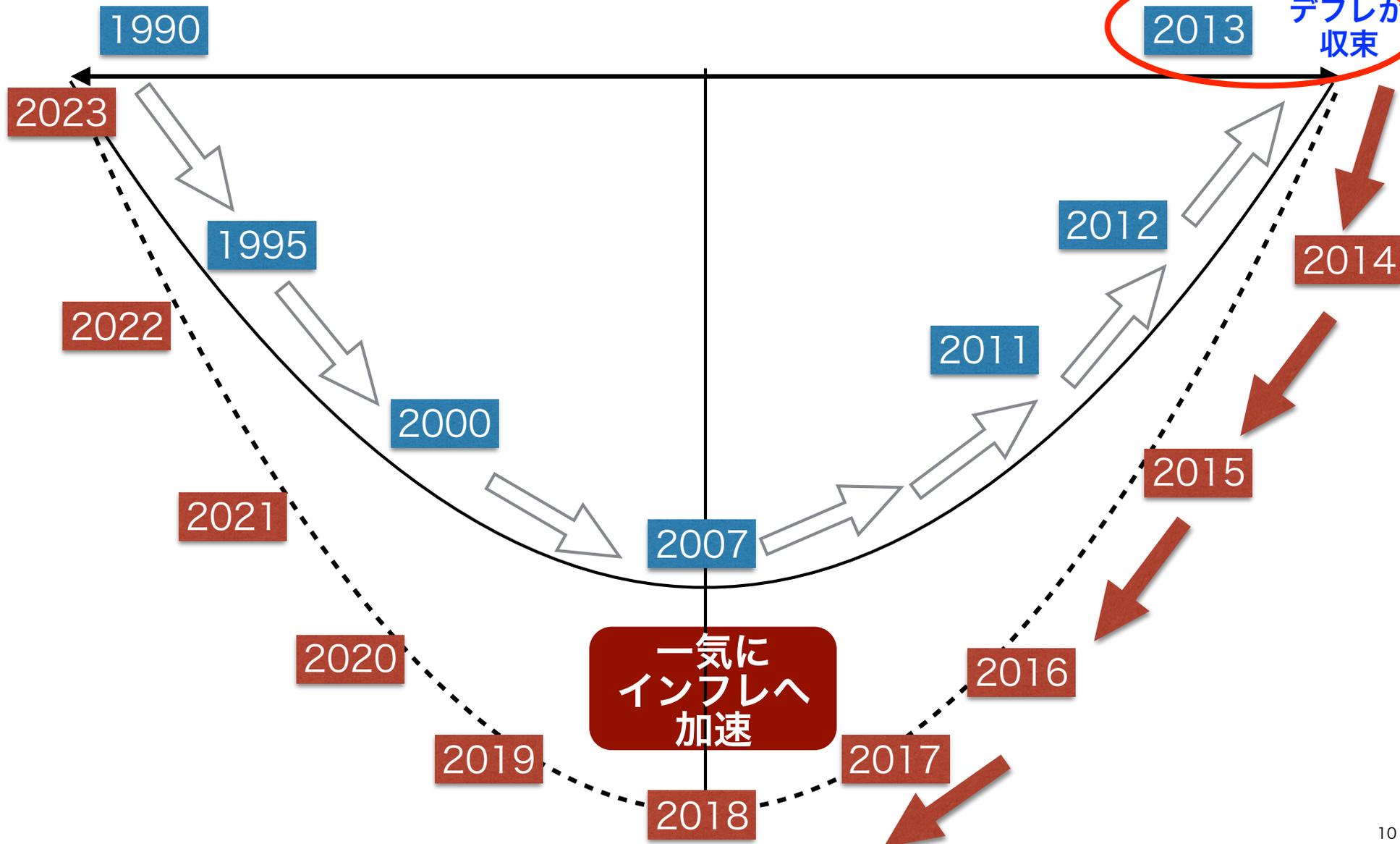
インフレ

インフレへ
それはシンワの時代の始まり

デフレ

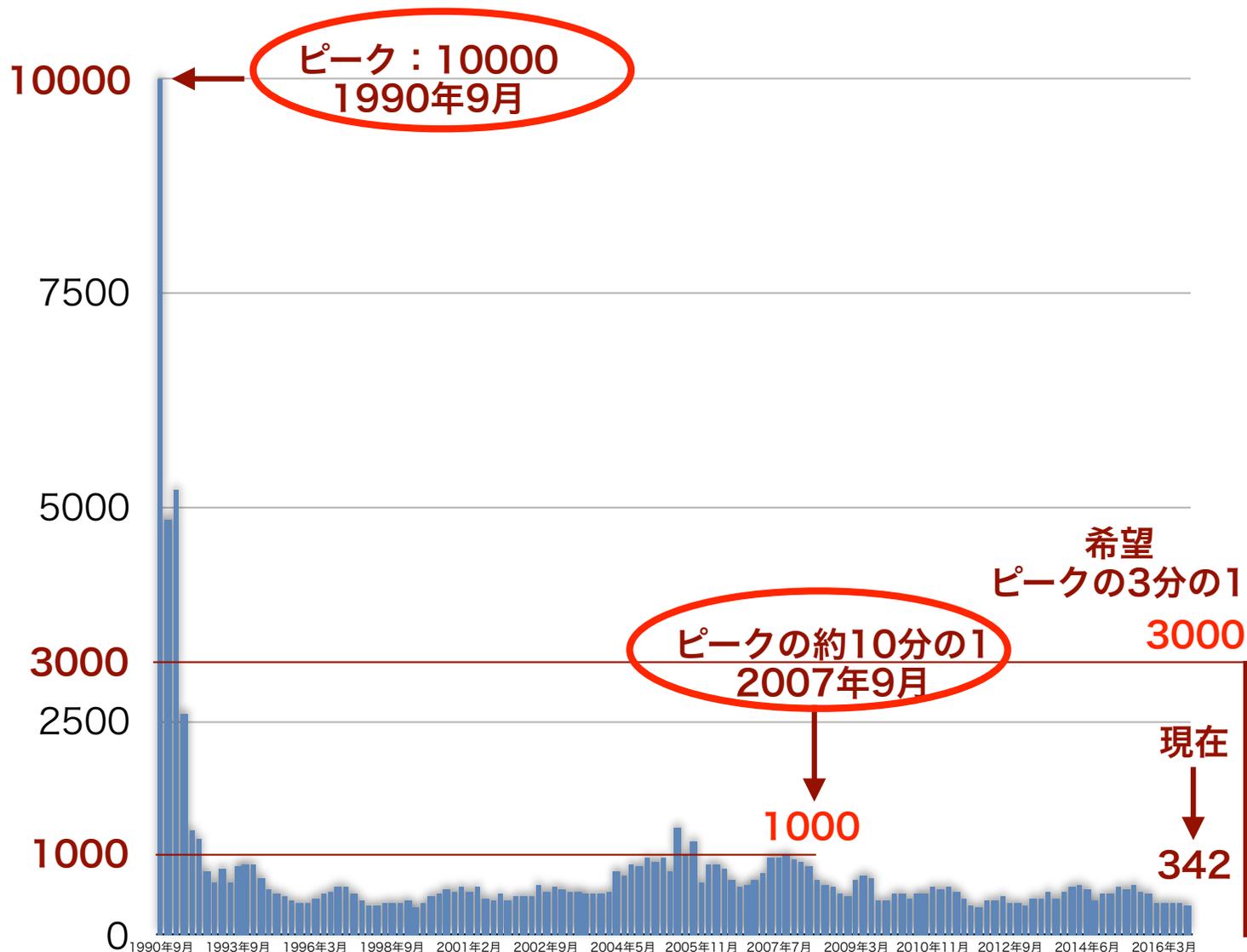
2013

デフレが
収束



近代美術オークション インデックス

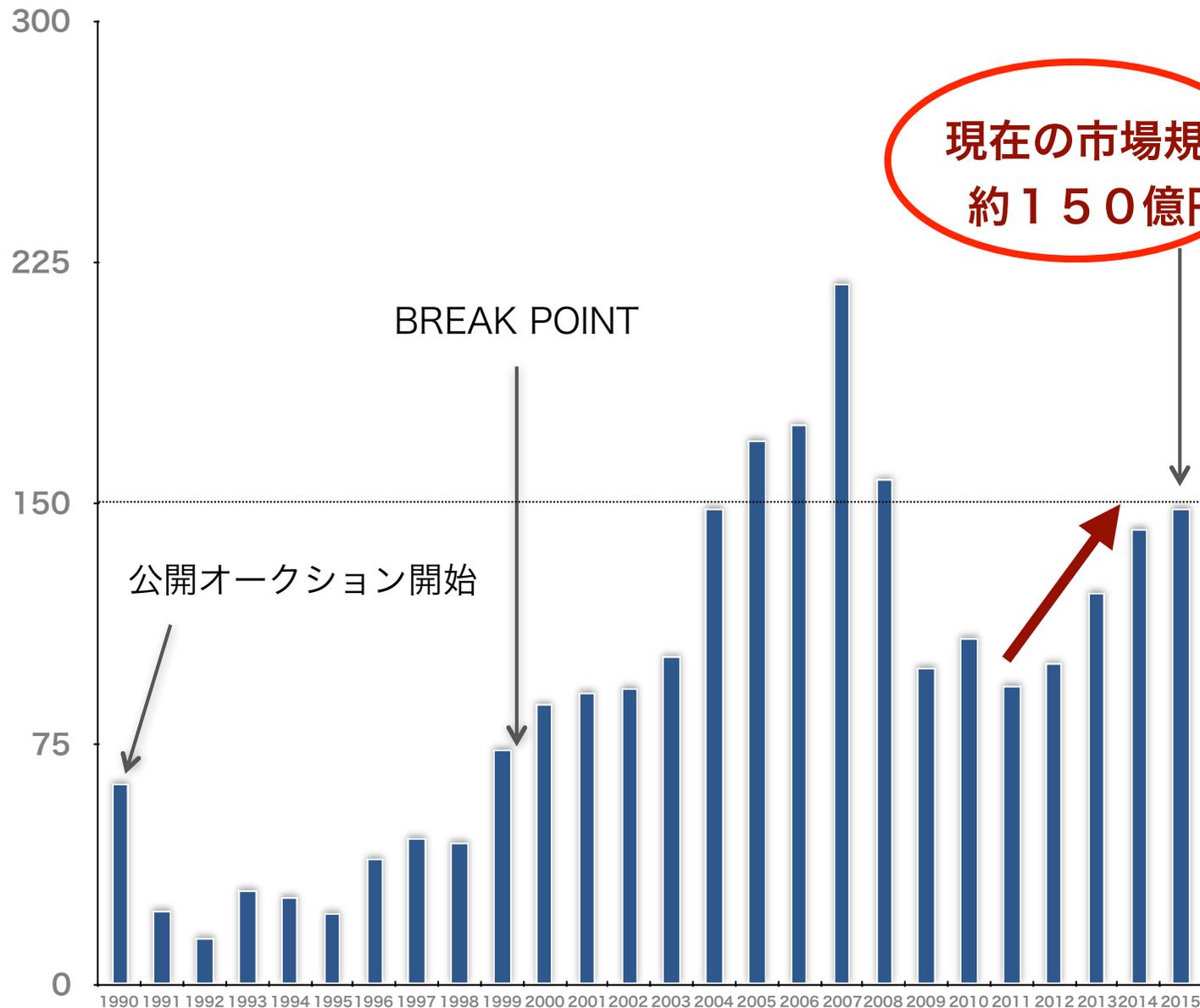
過去のシンワアートオークション「近代美術オークション」において落札された作品について、1点あたり平均単価の過去3回分の平均を算出し、1990年9月開催の「近代美術オークション」を10,000としてインデックス化。



オークション開催年月	インデックス
1990年 9月	10,000
1992年 2月	1,216
1993年 2月	764
1994年 2月	818
1995年 3月	459
1996年 3月	429
1997年 3月	549
1998年 3月	338
1999年 6月	325
2000年 3月	489
2001年 7月	403
2002年 3月	445
2003年 2月	527
2004年 3月	741
2005年 6月	1249
2005年 9月	1098
2006年 9月	571
2007年11月	891
2008年 9月	560
2009年 3月	631
2010年 3月	482
2011年11月	357
2012年 2月	最小 318
2013年 7月	503
2014年 1月	572
2014年 3月	580
2014年 6月	525
2015年 3月	555
2015年 5月	520
2015年 7月	574
2015年 9月	504
2015年 11月	390
2016年 1月	384
2016年 5月	380
2016年 7月	363
2016年 9月	365
2016年 11月	342

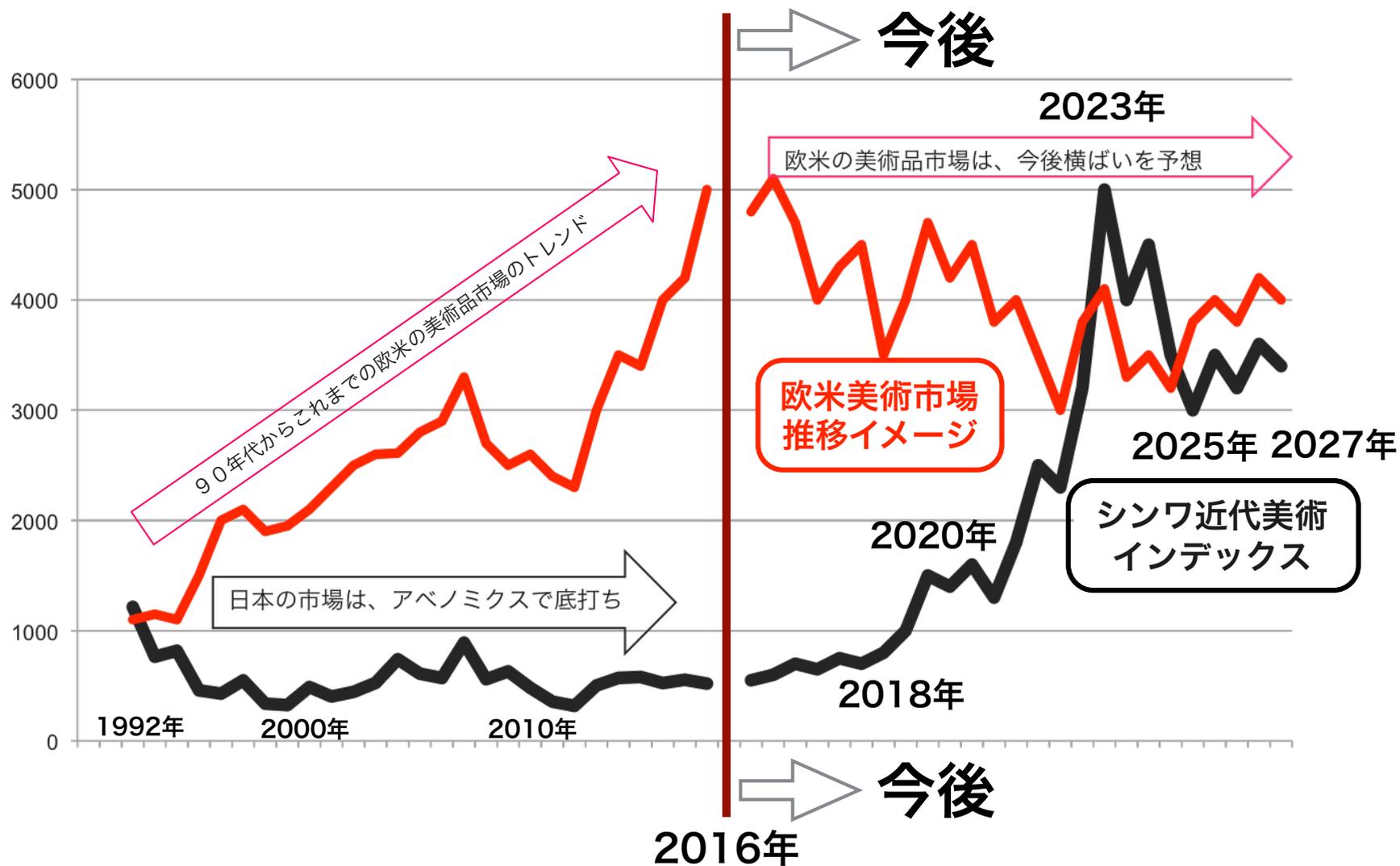
国内美術オークション市場の規模の推移

(単位：億円)



暦年	落札推移 (百万円)	前年比
1990年	6,256	-
1991年	2,300	-63.2%
1992年	1,479	-35.7%
1993年	2,945	99.1%
1994年	2,701	-8.3%
1995年	2,258	-16.4%
1996年	3,903	72.8%
1997年	4,549	16.5%
1998年	4,408	-3.1%
1999年	7,357	66.9%
2000年	8,765	19.1%
2001年	9,075	3.5%
2002年	9,211	1.5%
2003年	10,223	11.0%
2004年	14,857	45.3%
2005年	16,950	14.1%
2006年	17,426	2.8%
2007年	21,835	25.3%
2008年	15,774	-27.8%
2009年	9,903	-37.2%
2010年	10,777	8.8%
2011年	9,331	-13.4%
2012年	10,064	7.86%
2013年	12,276	21.9%
2014年	14,258	16.1%
2015年	14,836	12.15%

日本の美術市場は、
これまでインフレだった欧米の美術市場と
同じことが起こるのか？



3

グループ事業戦略

グループ事業戦略

アート から始まる
富裕層 向け

厳選されたプラットフォームの構築
セレクトサービスカンパニー

グループ事業戦略の根幹

「美術品は資産である」 (世界の常識)

日本近代美術再生プロジェクト

日本の美術プラットフォーム拡大へ

富裕層ネットワークを生かす

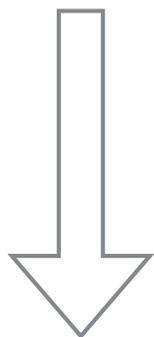
27年間培った富裕層ネットワークを事業展開
戦略子会社により富裕層関連事業へ積極展開

なぜ

日本の美術は、質が高いのに安すぎる

日本近代美術再生プロジェクト

なのか



施策

質の高い日本美術 世界の頂点の質

追い風 アベノミクスによる底値からの脱出

日本美術の再評価 歴史に残る近代美術

日本人としての使命感 日本のアートは日本人が語り継ぐ

資本力・経験・ネットワークで日本近代美術を再生
日本に安定的な美術市場のプラットフォームを創る
オークション事業の収益力強化

日本近代美術の盟主として、日本近代美術の価値付け、向上、維持に責任を持つ
年間市場規模 最低1000億円を達成するために注力
プライベートセールなどで収益を高めつつ、日本近代美術市場を下支えする
芸術的価値及び経済的価値の向上に寄与する啓蒙活動を継続する

10年後の近代美術プラットフォーム

日本美術オークション市場
1500億円

10倍

純資産：150億円
経常利益：50億円

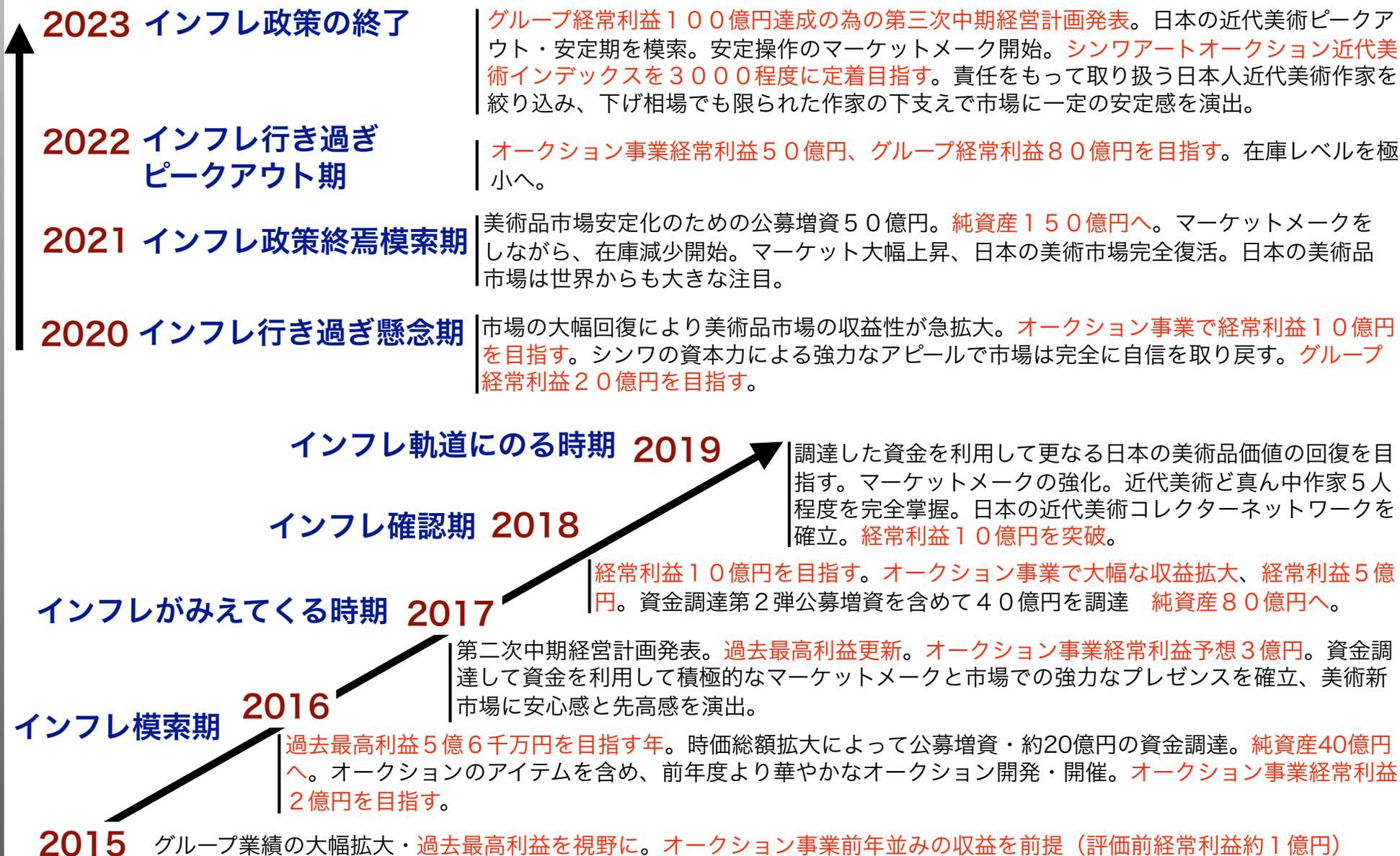
日本美術オークション市場
150億円

純資産：16億円

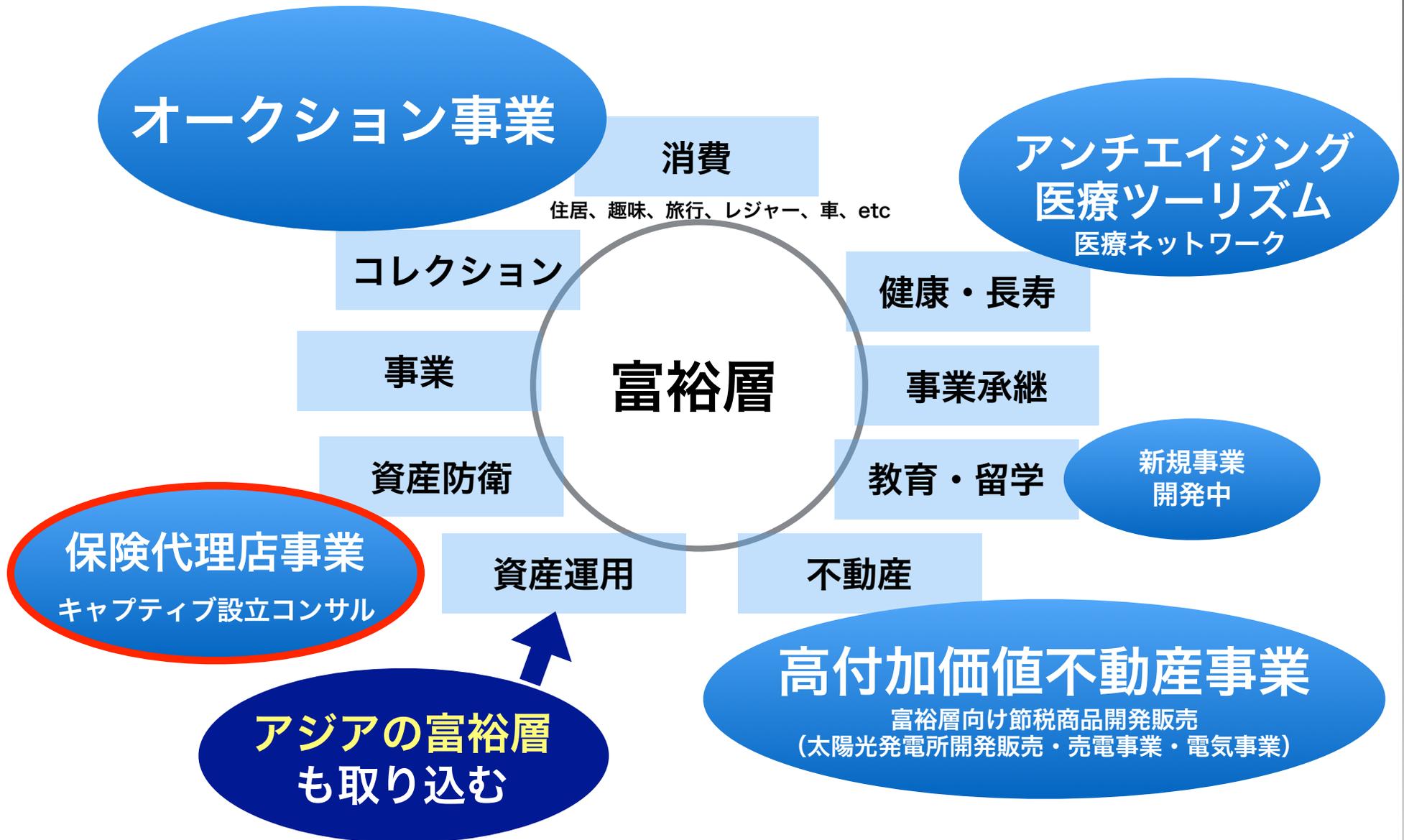
2016年

2023年

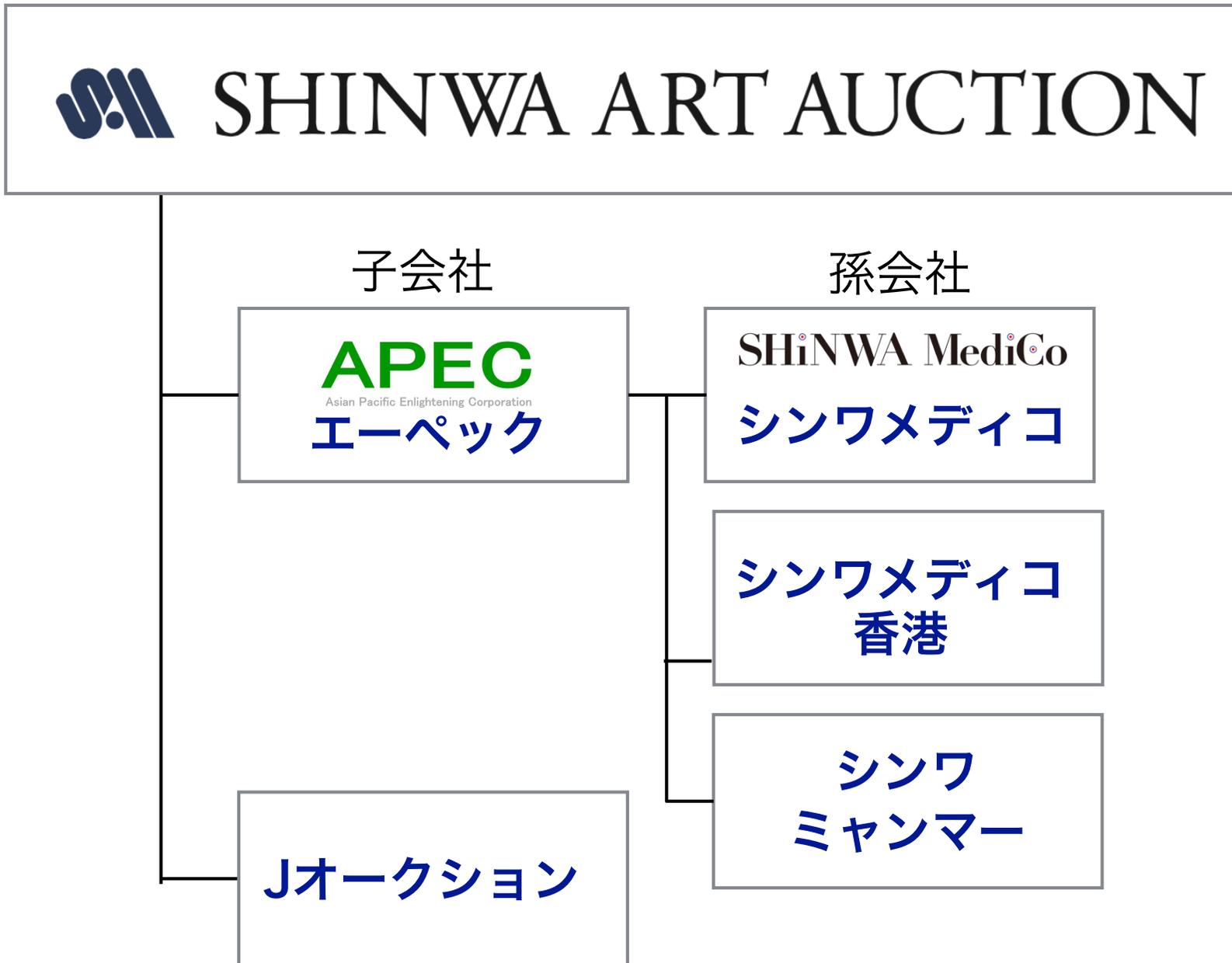
アベノミクスによるインフレによるオークション事業成長イメージと資本政策



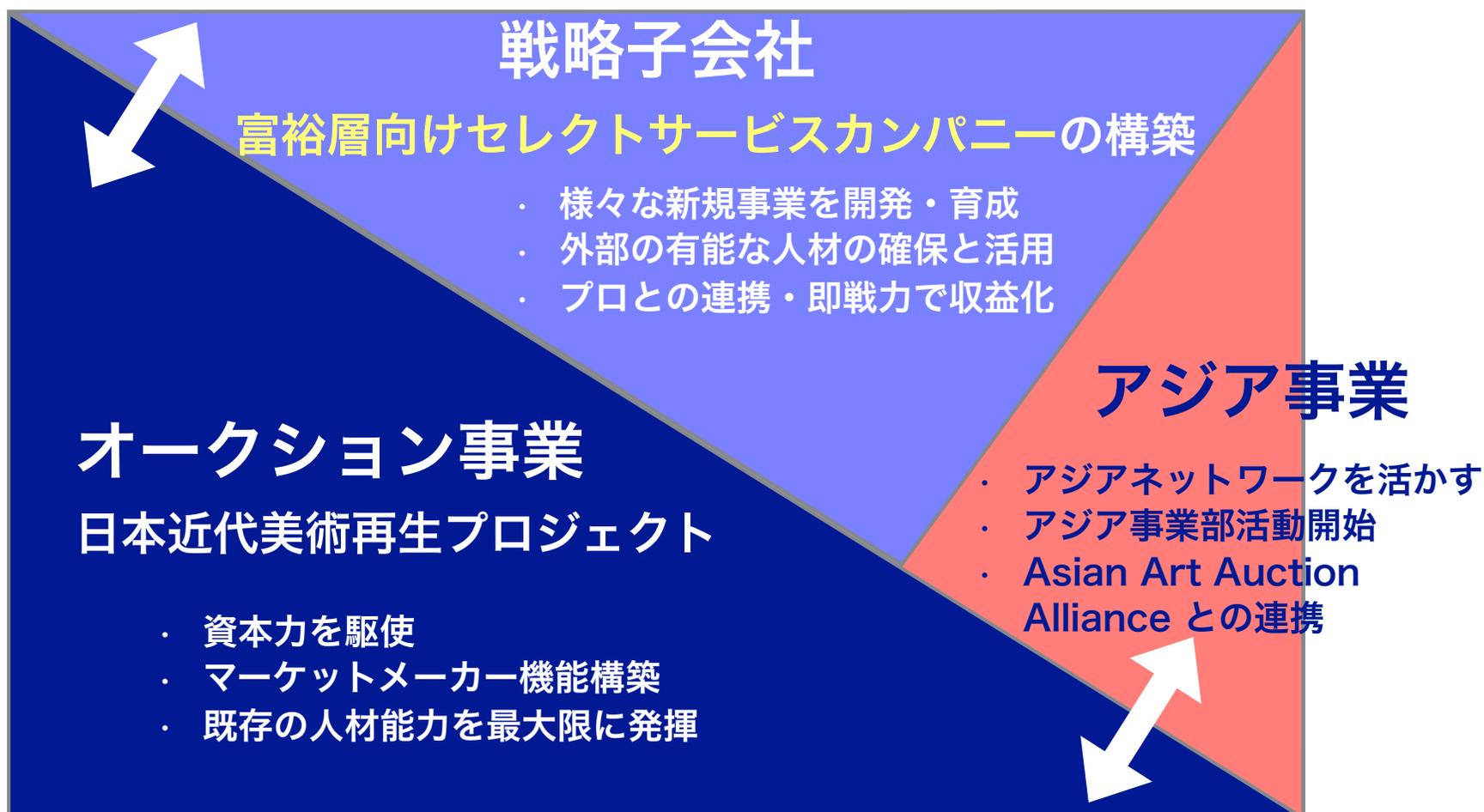
オークションから派生する富裕層ビジネスへのプロセス



グループ体系図



中期経営計画骨子からの進化形





(子会社) エーペック

エネルギー関連事業

販売実績

226基

再生可能エネルギービジネス

低圧型太陽光発電施設開発

エーペックはこれまで200基以上の50kW級低圧型太陽光発電施設の開発・販売実績とメガソーラーを含めた高圧型太陽光発電施設の開発実績があります。発電施設所在地も、北は栃木から、南は鹿児島県の離島まで広範囲に及び特に鹿児島県喜界島におけるすべての太陽光施設の開発は当社が担っております。

2015年 → 2016年 → 太陽光ビジネス → 2017年

ピークは継続

(2015年5月期)

分譲戸数-実績

50kW級低圧型太陽光発電施設 64基

500kW級高圧型太陽光発電施設 1基

(2016年5月期)

分譲戸数-実績

50kW級低圧型太陽光発電施設 101基

低圧・勝ち残りを模索

2017年5月期は前期を大幅に上回る開発・販売に取り組む

(2017年5月期2Q)

分譲戸数-実績

50kW級低圧型太陽光発電施設 61基

自社保有太陽光発電施設拡大

20年固定買取制度を利用して安定収益を拡大
2メガ秩父大野原太陽光発電所を(自社保有)
2016年11月より売電開始

医療分野（ホスピタルネットワーク）

SHiNWA MediCo

シンワメディコ

育成する
事業

1 A|A|A|A（アンチエイジング）
Asian Anti-Aging Alliance

アジアの
富裕層

2 医療ツーリズム（インバウンド展開）
高度で緻密な日本の医療を紹介

3 アジア進出模索（アウトバウンド展開）
高度で緻密な日本の医療を紹介

病院・医師紹介
高度医療健診紹介
再生医療治療紹介

アンチエイジングの
セレクトショップ
サプリメント販売

4

中期経営計画
進捗状況

中期経営計画進捗状況

アベノミクス追い風、デフレ脱却へ

25期 2013年6月～

収益拡大、成長軌道初年度

中期経営計画始動
新規事業収益化

- ・オークションプラットフォーム拡大開始
- ・積極的な資金調達

2014年5月期実績

売上：13.2億円
経常：1.22億円

29期 2017年6月～

ゴール

2018年5月

追い風続く

26期 2014年6月～

実質的な連結収益力拡大

オークション好調
太陽光貢献

- ・美術品プラットフォーム拡大
- ・太陽光発電施設建設ラッシュ

2015年5月期実績

売上：29.4億円
経常：0.52億円

新年度
28期 2016年6月～

連結収益更に拡大へ

太陽光ラッシュ継続
医療ツーリズム実現化
保険商品販売開始

※A|A|A|A活動推進

2017年5月期 見込み

売上：42.9億円
経常：3.82億円

27期 2015年6月～

連結収益拡大へ

アート市場活況
太陽光収穫期

- ・太陽光発電施設建設ラッシュ
- ・医療ツーリズム（新規）
- ・新たな安定事業の模索

折り返し
地点

27期 2015年6月～

連結収益拡大へ

- ・太陽光発電施設建設ラッシュ
- ・医療ツーリズム模索
- ・保険代理店事業参入

2016年5月期実績

売上：38.9億円
経常：3.32億円

5

2017年5月期
業績見込み

今期の事業展開

オークション関連事業

1. 近代美術再生プロジェクトの推進
2. プライベートセール事業の拡大（富裕層への深耕）
3. アジア富裕層ネットワークとの連携

エネルギー関連事業

1. 太陽光発電施設開発・販売のための積極的な権利取得を推進
2. 太陽光発電施設の販売に代わる新たな事業を模索

医療機関向け支援事業

1. A|A|A活動（サプリメント販売）の推進
2. 医療ツーリズムの実現に向け香港に設立した合併会社での決済プラットフォームの本格稼働を目指す。日本の医療機関及びクリニックの加盟件数獲得に注力。アジアからの医療ツーリズムを目的としたインバウンド旅行者の獲得を実現。

その他事業

1. アジア・中国への積極投資
2. ミャンマー事業の具現化（文化事業を含む）

アジア・中国
関連事業の
積極展開



今後
次々に
開始

2017年5月期
見込み

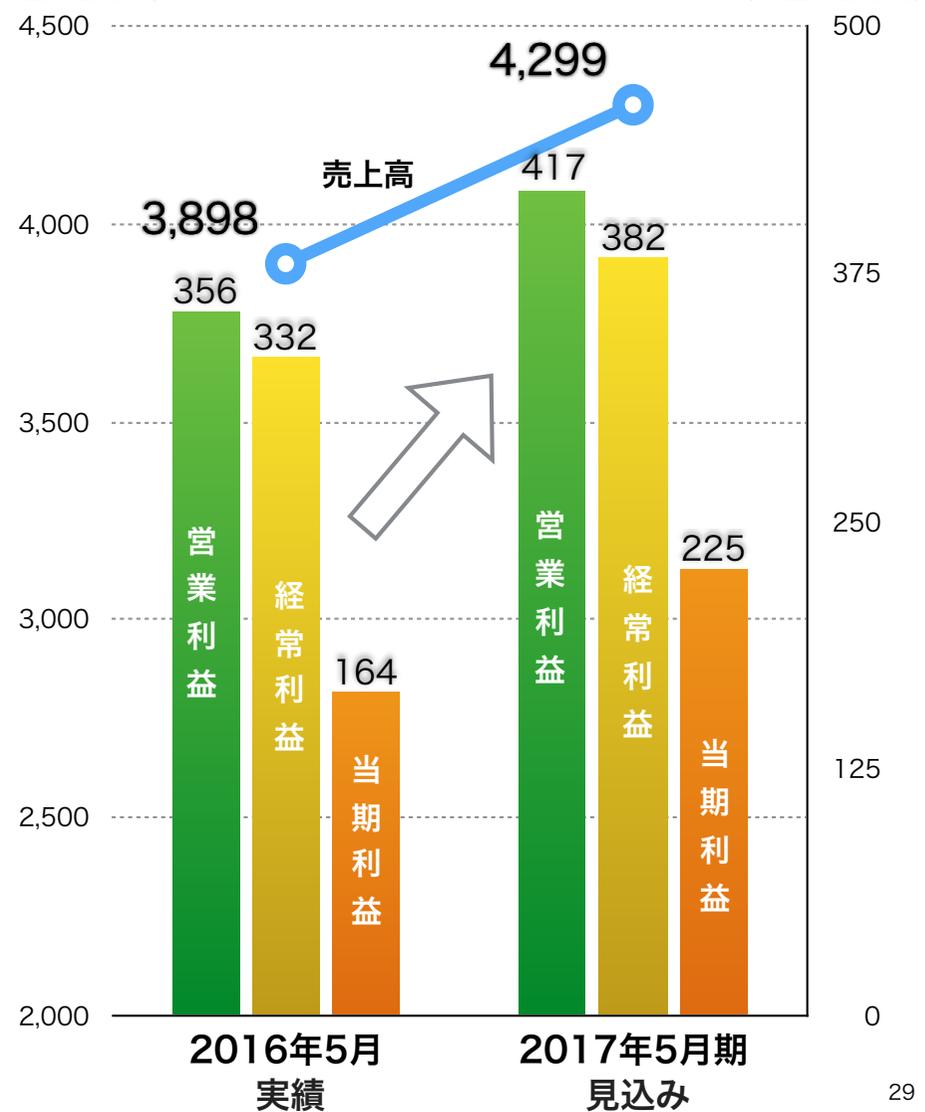
SHINWA ART AUCTION

增收増益予想

(単位：百万円)

	2016年5月期 実績	2017年5月期 見込み		
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	3,898	4,299	401	10.3%
営業利益	356	417	278	17.1%
経常利益	332	382	279	15.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	164	225	147	37.2%

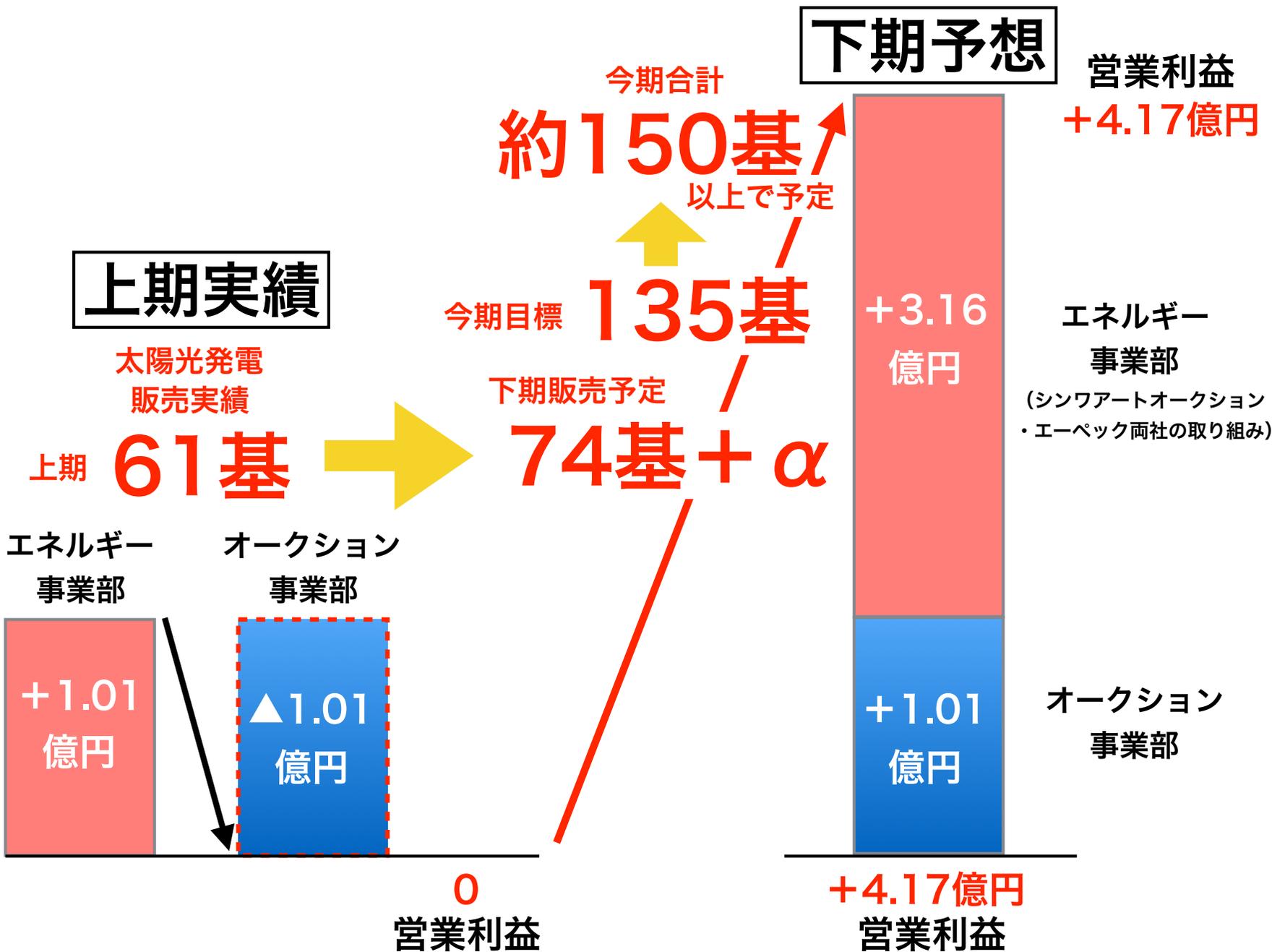
(単位：百万円)



2017年5月期
見込み

SHINWA ART AUCTION

セグメント利益



お問い合わせ先

シンワアートオークション株式会社

経理部

03-3569-0030

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。